

第一主日礼拝 【第一部】 午前 9:00-10:00
 【第二部】 午前 11:00-12:00
 (第二部は YouTube 同時配信)

前奏・黙祷

招 詞 詩篇 27 篇 4 節 (旧約 957)

賛 美 とうとき御位をくだりしイエス (インマヌエル 245)

交 読 詩篇 76 篇 1-12 節 (旧約 1011)

主の祈り・使徒信条

聖書朗読 ルカの福音書 24 章 36-53 節 (新約 174)

牧者公祷 (換気を行います)

説 教 『証人となる』

松井元始牧師

応答のとき

賛 美 十字架に主なるイエスは (インマヌエル 441)

頌 栄 父・御子・御霊の (インマヌエル 7)

祝 祷

後奏・黙祷

* * *

報 告

【献金は週報に添付の封筒を用いて、入口の献金かごにお入れください】

〈司会〉 〈奏楽〉 〈受付〉 〈聖書朗読〉 〈感謝祈禱〉

【第1部】 松井師 牧子師

【第2部】 松井師 牧子師

配信をご覧になれない方には CD を後日お届けできます。お申し出ください。

インマヌエル王子キリスト教会 牧師: 松井元始・牧子

〒114-0023 東京都北区滝野川 1-41-6 Tel 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>

E-mail: immanuelojichurch@gmail.com

銀行振込: みずほ銀行 王子支店 普通 1364893



『証人となる』 (ルカの福音書 24 章 36-53 節) 2022.5.1.

<はじめに> 「目撃した人はいませんか」と書かれた立て看板を街角に見かけます。証拠となる目撃情報を探すためです。有力証言を持つ証人が現れると、真相に近づけます。イエスの復活に遭遇したのは弟子たちです。信じがたい復活ですが、証拠と証人が情報を提供しています。

I 復活を支える証拠(36-46)

① 手と足を見なさい(36-40)

この箇所は、復活当日の朝(1-12)、午後(13-35)に続く出来事です。話している弟子たち(34-35)の只中にイエスご自身が現れました(36)。幽霊だ、と取り乱す弟子たち(37-38)に、イエスは手足を示されました。そこには十字架の傷跡もあったはず(ヨハネ 20:27)。

② 焼き魚を食される(41-43)

正真正銘のイエスだと分かった弟子たちは喜びつつも、復活については、なお不思議がっています。そこでイエスは食べ物を求められ、差し出された焼き魚一切れを彼らの前で食されました。

③ 聖書と話したことば(44-46)

イエスは十字架に架かる前から、受難と復活を少なくとも 3 度予告されています(9:22,44、18:33)。それはまた、イエス出現以前の旧約聖書の重要な預言のテーマで、必ず成就することです。「モーセの律法と預言者たちの書と詩篇」(44)はヘブル語聖書の 3 区分です。

II これらのことの証人(44-49)

① あなたがたは証人(47-48)

イエスの復活を支える証しに触れた弟子たちに、イエスは「あなたがたは、これらのことの証人となります」(48)と告げられます。イエスとともに、彼らもイエスの生涯とメッセージを「あらゆる国の人々に」(47)宣証する役割へと導かれています。

② イエスの生涯の証人(45-46)

弟子たちはイエスと共に生活しながら、主の教えと行いを数多く身近に接し、多くの教えを受けました。そのクライマックスである十字架へ向かう途上でのイエスの苦しみも垣間見、今は死人の中からよみがえられたイエスを目の当たりに見えています。

③ 罪の赦しを得させる悔い改めの証人(47)

神がすべての人に「罪の赦しを得させる悔い改め」を得させようとして、イエスをキリスト(救い主)として世に送られました。十字架と復活を経られたイエスの名は、このことへの神の確証です。この具体的な実現を証言する役割を、イエスは弟子たちに託されました。

III 証人となる

① 現場にはいなくても

48 節の「あなたがた」に私たちは含まれるでしょうか。少なくとも私たちはイエスの生涯、十字架と復活の現場には居ません。しかし、弟子たちの証言が真実であり、聖書のことばは確かに成就することを証言することはできます。あなたは何と証言されますか。

② 罪の赦しはあるのか(45)

罪は厳罰に処すべき、の風潮が強まっています。しかし厳罰でも罪は根絶できません。聖書は、神は罪を赦される、へりくだって罪を悔い改めて神に立ち返ることがその条件だと、と一貫して伝え、それが広く宣べ伝えられています。これに、あなたは何と言いますか

③ 証人を支えるもの(49)

罪の赦しは、今に至るまで罪を悔い改めイエスの名を救い主として信じ受け入れたなら、だれでも体験できます。そのために父なる神は約束の御霊なる神を送られます。御霊は私たちに罪を気付かせ、イエスを示し、聖書を理解させ、内に住まい、共に歩まれます。

<おわりに> やがてイエスは天に上げられて見えなくなりましたが、弟子たちは嬉々として神を礼拝し、この十字架と復活の証言のスタート地点(47)に立ちます。私たちがその証人に加わるようにと、主は期待し、約束されています。この主のことばも成就すると信じていますか。(H.M.)